

導波路型マッハツェンダ干渉回路の高機能・高性能化に関する研究

橋詰, 泰彰

<https://doi.org/10.15017/1544010>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	橋詰 泰彰		
論文名	導波路型マッハツェンダ干渉回路の高機能・高性能化に関する研究		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 氏名 浜本 貴一
	副査	九州大学	教授 氏名 中島 寛
	副査	九州大学大学院システム情報科学研究所	教授 氏名 加藤 和利

論文審査の結果の要旨

本論文は、石英系平面光波回路によるマッハツェンダ干渉計を用いた光スイッチの低消費電力化を実現すると共に偏波ビームスプリッタを新たに開発したもので、光エレクトロニクスに寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認められる。